

株式会社板文

社は「真実一路 商業を通じて社会に 奉仕しよう」

弊社は、姫路の駅前、姫路城北に位置する売場面積3,200㎡の家具店です。一般の家庭用家具だけでなく、業務用家具、別注家具製作、カーテン・カーペットの施工や内装施工まで手掛けており、個人のお客様だけでなく、法人のお客様、飲食店、旅館、ホテル、建築業、病院・施設用家具、官公庁を中心に役員室、応接室、会議室、食堂、モデルルーム、各種ホールや客室など様々な施設の家具、内装をお手伝いさせて頂いております。創業時より良いものをより安くご提供できるよう国内外200社余りから直接仕入れ、販売しております。

商号	家具の板文
本社	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町67
創業年	1784年(天明4年)11月
設立年	1948年(昭和23年)6月
資本金	24,200千円
従業員数	17名
事業内容	家具小売業、カーテン・カーペット施工、内装、別注家具製作等インテリア全般



大正時代の店舗



昔のチラシ



内装工事



病院個室



飲食店

創業1784年 天明4年 江戸の末期に道具商としてスタート

創業者「板屋文兵衛(いたやぶんべえ)」が江戸の末期、姫路市木場にて道具商として創業。現在の社名である「板文」は創業者の名前から付けられました。二代目文兵衛の時代に現在の本店(綿町)に進出。姫路藩を主要顧客としながら姫路城下の道具商として腕を奮っておりました。出来が気に入らないと壊してしまい、一から作り直すほど「良いモノ」作りに拘った頑固な職人だったと聞いています。幕末になると、藩財政が逼迫し、道具商の傍ら「安い利子」で金子のご用達を行い藩政に協力したことを認められ姫路藩より「名字帯刀」を許されました。この時、頂いた名字が「利子が安い」ことから「利安(としやす)」と言う名字でした。

2度の危機を乗り越えて

長年の歴史で大きな危機は、2回ありました。1つ目は、「廃藩置県」で大口顧客であった藩が無くなったこと、2つ目は、戦争でした。どちらも姫路城下に構えていた商店が全て無くなってしまおう程の大惨事・大不況でしたが、それまで質素儉約、少しずつ貯めた蓄えを基に再建。2度の危機を乗り越えてきています。途中、喫茶店や楽器店等も営んでいましたが、創業時からの道具商=家具を一貫して生業としております。このような歴史から、当社では「継続の秘訣」として、①本業第一 ②品質重視 ③堅実経営が肝要だと感じております。現在、グローバル化、大型店舗化が進み、地方家具店には厳しい環境となっておりますが、家具は長距離輸送に不向きで、耐久消費財であることから地元密着で歩んできた強みを生かし、家具・インテリアのことなら何でも相談頂ける体制を整えております。

今後の目標 老舗家具店として

家具の重要なポイントとして、「機能性」「安全性」「耐久性」「快適性」「デザイン性」の5つがあります。近年今迄の「使い捨て文化」が見直されつつあり、「資源を大切にす時代」へ移行しています。そのような中、使い捨てを前提とした廉価品ではなく、末永くお使い頂ける「耐久性」のある「本物」をできる限り低コストでお届けできるように、また修理・再生にも注力しできるだけお手持ちの家具を末永くお使い頂ける手助けができる体制を整えております。

さらに「電動」という「機能性」が家具業界にも広がっています。高齢化に対応した電動リクライニングベッドの他、電動ソファも積極的に取り扱っております。また、有力メーカーとのタイアップを強化するため、国産一流メーカーの「フランスベッド」のGalleryを展開。学会でも注目されつつある「睡眠の質」という健康に対する「安全性」「快適性」を高めるための取り組みにも着手。ただ単に家具を売るだけでなく様々なライフスタイルの変化に対応したインテリアのプロ集団を目指しております。



今年本店内にオープンしたフランスベッドGallery

Since 1784